

## 「秋田県 I o T 活用モデル工事」の試行について（概要）

### 1 目的

公共工事の建設現場において受発注者間の打合せ及び現場確認などに I o T を活用することにより、建設工事の生産性向上を図ることを目的に、I o T 活用モデル工事を試行する。

### 2 「秋田県 I o T 活用モデル工事」の概要

#### (1) 実施内容

- ① 情報共有システム（ASP）の活用
- ② Web 会議の活用（月 1 回以上）
- ③ 遠隔臨場の活用（1 工事 2 回以上）

#### (2) 発注方式

従来のモデル工事と同様に、「発注者指定型」と「受注者希望型」とする。

※ 建設部所管の工事のみを対象として実施する。

#### (3) 費用計上

発注時は費用計上せず、精算変更時に費用を積み上げ計上する。

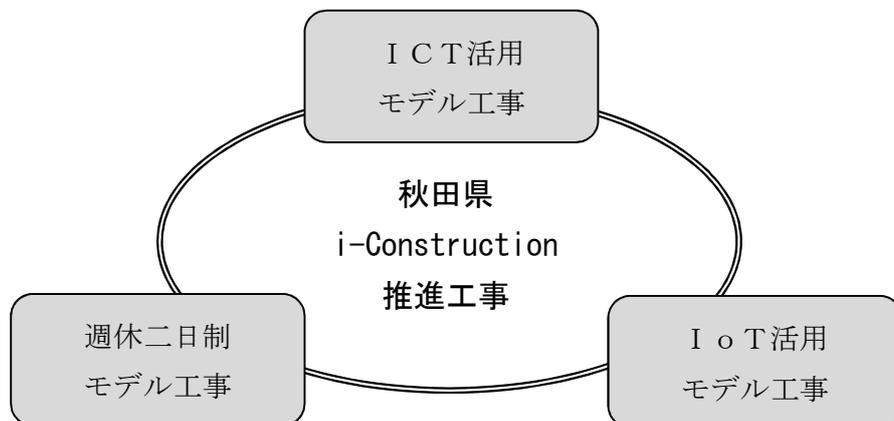
#### (4) 新設する要綱類

- ・ 秋田県 I o T 活用モデル工事試行要綱（令和 2 年 7 月 1 5 日施行）
- ・ 建設現場の遠隔臨場に関する試行要領（令和 2 年 7 月 1 5 日施行）

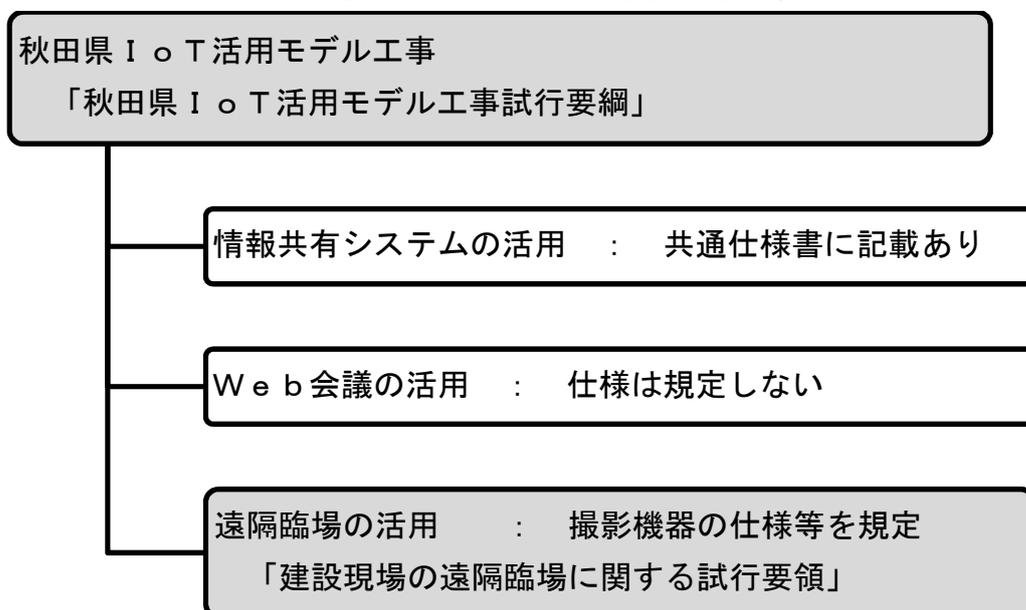
### 3 包括的なモデル工事

「ICT 活用」、「週休二日制」、「I o T 活用」の全てを発注者指定型として一体的に発注する工事を「秋田県 i-Construction 推進工事」として扱う。

（イメージ）



(参考1) 秋田県 I o T 活用モデル工事に係わる要綱類の構成



(参考2) 遠隔臨場の主な仕様

- 撮影に関する仕様
  - ・ 映像 : 画素数 1920×1080 以上  
(目的物の判別が可能な場合、受発注者協議の上、640×480 以上でも可)
  - ・ 映像 : フレームレート 30fps 以上  
(目的物の判別が可能な場合、受発注者協議の上、15fps 以上でも可)
  - ・ 音声 : マイク、スピーカーとも モノラル (1チャンネル) 以上
- 配信に関する仕様
  - ・ 転送レート (VBR) : 平均 9 Mbps 以上  
(段階確認等に支障が無い場合、受発注者協議の上、1 Mbps 以上でも可)